

令和5年度事務事業評価（令和4年度事業評価）

子育て支援部

所属名	事務事業名	ページ番号
子育て総務課	子育て支援アドバイザー委託事業	2
子育て総務課	児童クラブ運営事業	3
子育て総務課	障害児学童保育事業	4
子育て総務課	病児・病後児保育事業	5
子育て総務課	子どもの学習支援を兼ねた居場所づくり事業	6
子育て総務課	発達障がい児支援事業	7
子育て総務課	児童発達支援事業	8
子育て総務課	子育て支援情報発信事業	9
子育て総務課	児童センター管理運営事業	10

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	子育て支援アドバイザー委託事業	事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	岩瀬 さやか
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市が実施する子育て支援に関する事業について、市民目線及び専門的見地からの指摘及び助言を受けることにより、ニーズに応じた子育て支援サービスの充実を図るとともに、こども・子育て支援サービスの質の向上を図る。				
事業の対象者	子育て世帯の市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設：21件（現状把握、意見交換、講演） ・子育て支援センター、児童館、児童センター：25件（現状把握、意見交換、打合せ、講演） ・小学校、児童クラブ：4件（現状把握、意見交換、研修） ・要保護児童対策地域協議会、S V事例検討会：10件（会議） ・児童発達支援事業所：1件（現状把握） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	-	3,300		
うち佐賀市の負担額			3,300		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
意見交換を行った子育て関連施設関係者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		150 171	150	150		

成果指標②						単位
講演会・研修会への参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		150 181	150	150		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和4年度は基準値となるため、令和5年度の実績結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
子育て関連施設の現状把握や意見交換を継続しつつ、各課の担当者と綿密に打合せを重ねることで、次年度以降の事業展開の参考としたい。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	児童クラブ運営事業	事業期間	昭和 52 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 児童育成係	担当課長名	岩瀬 さやか
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	児童福祉法の規定に基づき、保護者が就労等により昼間家庭にいないことが常態である小学生の児童を対象に、小学校に児童クラブを設置し指導員を配置して放課後の適切な遊び場と生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。				
事業の対象者	保護者が就労等で昼間家庭にいない、市内の小学校に通学する留守家庭児童				
令和4年度主な活動実績	市内35小学校区のうち34校区及び附属小学校で児童クラブを実施し、児童の健全育成を行った。また、待機児童が発生していた校区において、令和3年度から引き続き近隣保育施設への業務委託を行い、待機児童の解消を図った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	504,105	447,532	471,959		
うち佐賀市の負担額	90,323	95,729	97,318		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
待機児童数（毎年度5月現在）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
68	19 3	11 23	0	0		

年度	目標	実績
R2	68	68
R3	19	3
R4	11	23
R5	0	0
R6	0	0

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	待機児童がいる校区において、近隣保育施設への業務委託を行うとともに、新たな余裕教室の確保など受け入れ拡大に努めた。



成果目標達成に向けた対応策等
待機児童がいるクラブを優先的に、見込み数に応じて専用区画等を確保し、受け入れ可能数を拡大する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	障害児学童保育事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 児童育成係	担当課長名	岩瀬 さやか
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	特別支援学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいない者に対し、授業の終了後に、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。				
事業の対象者	保護者が就労等で昼間家庭にいない各特別支援学校に通学する小学1年生から高校3年生までの児童生徒				
令和4年度 主な活動実績	【実施日数】 チャレンジクラブ：279日、大和かがやきクラブ：279日 登録児童数（R4年度） チャレンジクラブ（金立特別支援学校内）：入所3人・一時7人 大和かがやきクラブ（大和特別支援学校内）：入所24人・一時14人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	34,798	35,734	35,685		
うち佐賀市の負担額	16,558	15,488	16,184		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
延べ利用者数（チャレンジクラブ）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
724	700 631	900 465	900	900		

成果指標②						単位
延べ利用者数（大和かがやきクラブ）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,591	1,600 1,796	2,300 2,154	2,300	2,300		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	チャレンジクラブは利用者が在籍する金立特別支援学校の生徒数自体が減少傾向にあることに伴い利用者が減少傾向にあり、大和かがやきクラブは大和特別支援学校の生徒数が増加傾向にあることに伴いクラブの利用者も増加傾向にある。



成果目標達成に向けた対応策等
入学説明会への参加等、引き続き保護者へ広く周知を行う。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

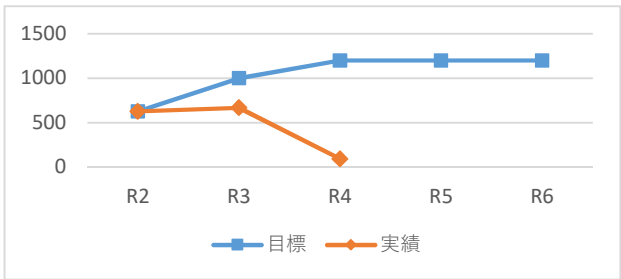
事務事業名	病児・病後児保育事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	岩瀬 さやか
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

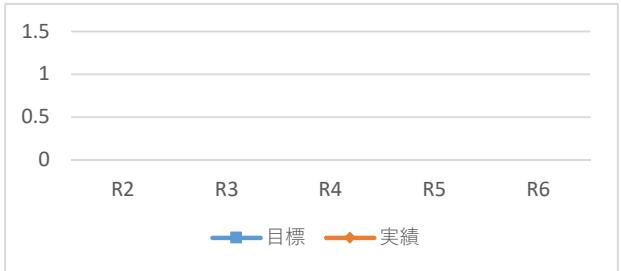
事業概要・目的	保護者の仕事と生活の両立の支援及び子どもの健全育成のため、保護者が仕事の都合などで、病中・病気回復期にある子どもを自宅で世話することが難しい場合に、小児科医院に併設した保育室で一時的に保育を行う。				
事業の対象者	生後2か月から小学校3年生の児童				
令和4年度主な活動実績	かるがものへや（おおたゆうこ小児科内）、ぞうさん保育室（橋野こどもクリニック内）の2か所で実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	25,773	27,109	26,613		
うち佐賀市の負担額	9,812	10,976	11,915		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
延べ利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
626	1,000 667	1,200 93	1,200	1,200		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が流行して以降、病児保育室の受け入れを一時休止していたため、受け入れニーズに応えることができなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症が沈静化して以降、通常の受け入れを再開している。共働き世帯の増加により、病児保育の利用ニーズも一層高まるが見込まれることから、受け入れ体制を確保する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	子どもの学習支援を兼ねた居場所づくり事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	岩瀬 さやか
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	家庭環境によってさまざまな困難を抱える子どもに対し、学習支援や遊び場の提供等を通じて地域における居場所をつくり、多面的な支援を行うことで、子どもの心・体・学習の健やかな成長に繋げる。				
事業の対象者	学校や家庭以外に居場所を求める子ども				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくりに関する相談支援、関係団体等との連携推進などのコーディネート業務 ・居場所づくりの新規立ち上げ及び拡充に伴う補助（上限10万円） 2か所 ・「子どもの居場所活動報告会」の開催 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,351	3,065	2,439		
うち佐賀市の負担額	2,351	3,065	1,320		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
こどもの居場所						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
10	12 16	18 22	24	26		

年度	目標	実績
R2	10	10
R3	12	16
R4	18	22
R5	24	24
R6	26	26

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	居場所の開設を希望する団体や個人は年々増加しており、開設にかかる準備費用の一部を補助することで、開設を後押しする効果が生まれている。



成果目標達成に向けた対応策等
より多くの市民が子どもの居場所づくりに主体的に関わる機会が増え、子どもの居場所の増加につながるように、各団体の取り組みや制度の周知に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	発達障がい児支援事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	岩瀬 さやか
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	16共生社会をめざす障がい者福祉の充実	
	基本事業	地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	1歳6か月健診時に発達障がい疑われた児童に対して、日常生活や集団生活への適応を図るために、職員が発達検査や面談等を行うとともに、必要に応じて、専門の医療機関での受診の機会を提供する。 市内児童発達支援事業所等に対して、「クラスルームという」の療育ノウハウを共有する実践研修を行う。				
事業の対象者	発達障がいの疑いがある児童、市内児童発達支援事業所等				
令和4年度主な活動実績	1歳6か月健診時に発達障がい疑われる児童に対する発達検査や面談等の実施 市内児童発達支援事業所等に対する療育実践研修				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,551	4,513	4,353		
うち佐賀市の負担額	4,551	4,513	4,353		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
医療機関受診者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
20	20 11	20 11	20	20		

成果指標②						単位
療育実践研修参加事業所数						事業所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	7 7	7 9	7	7		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	専門の医療機関の受診者は例年並み。 市内児童発達支援事業所等に対する療育実践研修は、「クラスルームという」の療育ノウハウが参加者の所属事業所等に共有された。



成果目標達成に向けた対応策等
早期発見や早期診断の機会を設けることで、早い時期からの支援につなげ、日常生活や集団生活への適応を図る。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	児童発達支援事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	岩瀬 さやか
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	16共生社会をめざす障がい者福祉の充実	
	基本事業	地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	児童福祉法に基づく市直営の児童発達支援事業所「クラスルームという」において、発達障がいと診断された未就学児を対象とした支援を行うことで、日常生活における基本的な動作、集団生活への適応を図る。				
事業の対象者	佐賀市在住で、発達障がいの診断を受けた就学前の児童とその保護者				
令和4年度主な活動実績	市直営の児童発達支援事業所「クラスルームという」で、個別療育及び集団療育を実施				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,125	19,749	22,315		
うち佐賀市の負担額	0	0	2,319		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
73	73 66	73 60	73	73		

成果指標②						単位
延べ利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,935	2,000 2,048	2,000 1,680	2,000	2,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	発達障がいの早期診断を受けた児童の減少により、利用者数自体は前年より少なくなったが、利用者（保護者）の満足度は高く、質の高い療育を提供することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
専門家からのアドバイスや研修をもとに指導員の療育スキルの向上と効率的な運営に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	子育て支援情報発信事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	岩瀬 さやか
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要	子育て世帯が必要とする情報を、より分かりやすく必要なタイミングで届けられるように、紙媒体からデジタルを活用した情報発信に転換することで、より安心して子育てできる環境づくりを行う。				
事業の対象者	子育て世帯の市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯が必要とする情報をより分かりやすく検索できるように、佐賀市ホームページ上に子育て情報のトップページを構築した。 ・LINEの公式アカウントにおいて、子育て情報のセグメント配信等を行うための機能拡張を行い、欲しい情報や子どもの年代などをあらかじめ登録いただくことで、必要な方に必要な情報をタイムリーに発信するセグメント配信等を開始した。 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	—	330	1,892		
うち佐賀市の負担額	—	330	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
子育て・教育ポータルサイト「H u g」閲覧者数 (月平均)						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
—	—	4,000 5,016	4,000	4,000		

成果指標②						単位
佐賀市公式LINE子育て情報受信設定者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
—	—	1,000 1,085	2,000	3,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイト「H u g」については、見やすく目撃検索しやすい仕様に構築できた。 ・LINE子育て情報については、保育施設へのチラシの配布等により利用者を増やすことができました。



成果目標達成に向けた対応策等
LINEの子育て情報の利用者増に向けて、引き続き周知広報にチカラを入れていくとともに、佐賀市公式スーパーアプリとの連携について、検討を進める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	児童センター管理運営事業	事業期間	昭和 60 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 児童育成係	担当課長名	岩瀬 さやか
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	児童に健全な遊びを提供するための環境づくりと、心身の健康を増進し情操を育てるための環境づくりを目的として児童館を運営する				
事業の対象者	0歳から18歳未満の児童				
令和4年度 主な活動実績	児童館・児童センター5館の延べ来館者数：51,972人 (中央児童センター：34,820人/北部児童センター：5,741人/久保田児童センター：2,313人/川副児童館：5,128人/東与賀児童館：3,970人)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	68,451	73,552	74,627		
うち佐賀市の負担額	64,013	69,048	70,322		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
児童館を利用して楽しかったと回答した児童の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
92	94 100	100 99	100	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	来館児童に対し、家でできない様々な遊びを提供している点や、様々な行事・講座を実施している点において特に高い評価を得た。



成果目標達成に向けた対応策等
来館する児童への遊びの指導及び行事・講座等の実施により、児童に様々な体験の機会を提供することによって利用者満足度を高めるよう努めていく。